

市民公益活動について

□調査期間 平成29年2月7日～平成29年2月15日

□調査の趣旨 市民協働推進課では、NPOやボランティアの支援及び協働の推進に関する事務を行っています。市民の皆様の「市民公益活動」に対する理解度や経験度を把握し、推進に役立てるために「市民公益活動」についてお聞きします。

(用語説明)

※「市民公益活動」とは、NPO活動やボランティア活動等のように、市民が自発的に行う公益的で非営利の活動とします。

※「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政や市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取り組みです。

□対象者数 574 人(平成29年2月7日現在)

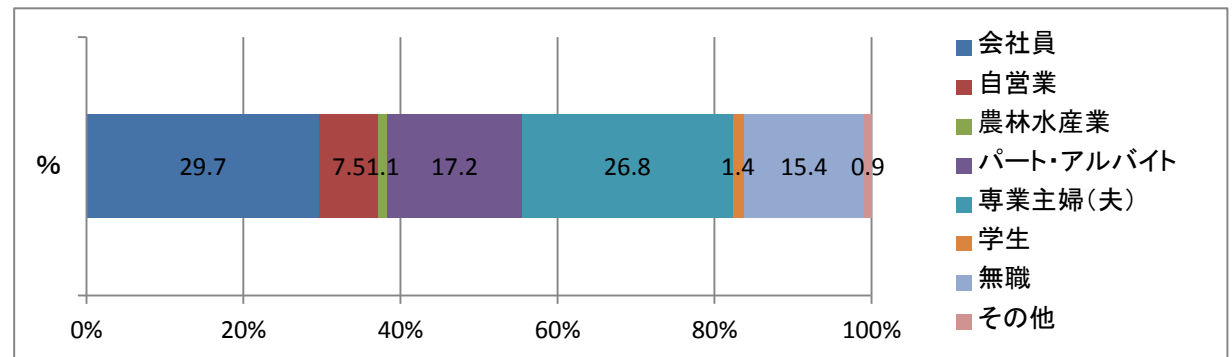
□回答者数 441 人

□回答率 76.8 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

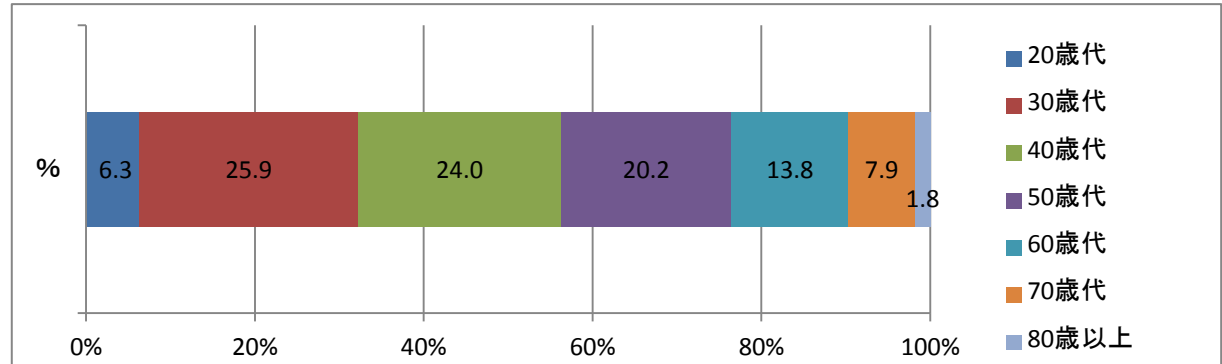
【職業】

内訳	人数	%
会社員	131	29.7
自営業	33	7.5
農林水産業	5	1.1
パート・アルバイト	76	17.2
専業主婦(夫)	118	26.8
学生	6	1.4
無職	68	15.4
その他	4	0.9
合計	441	100.0



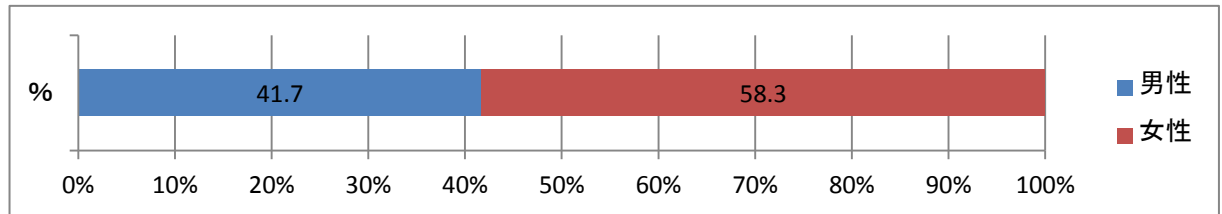
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	28	6.3
30歳代	114	25.9
40歳代	106	24.0
50歳代	89	20.2
60歳代	61	13.8
70歳代	35	7.9
80歳以上	8	1.8
合計	441	99.9



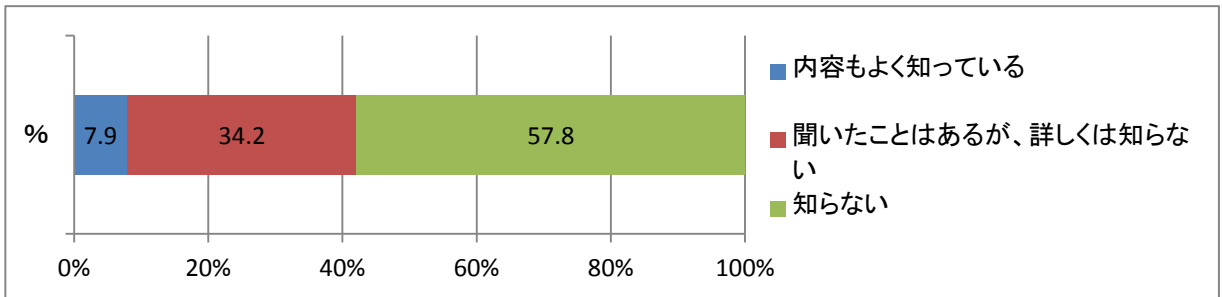
【性別】

内訳	人数	%
男性	184	41.7
女性	257	58.3
合計	441	100.0



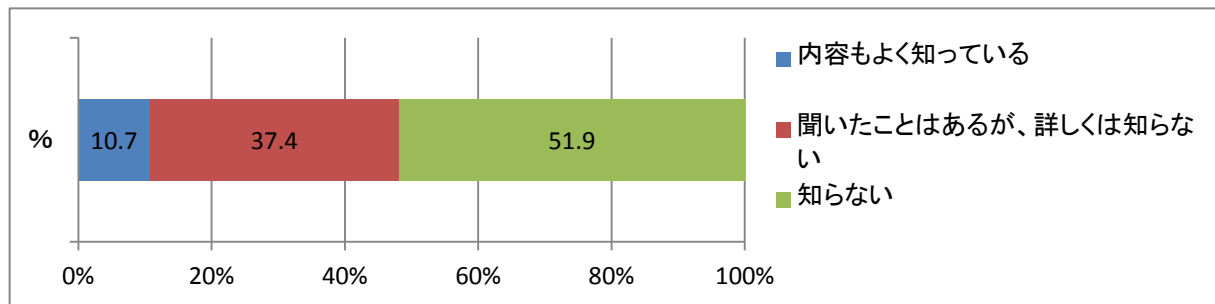
【問1】「市民公益活動」という言葉を知っていますか？

内訳	人数	%
内容もよく知っている	35	7.9
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	151	34.2
知らない	255	57.8
合計	441	99.9



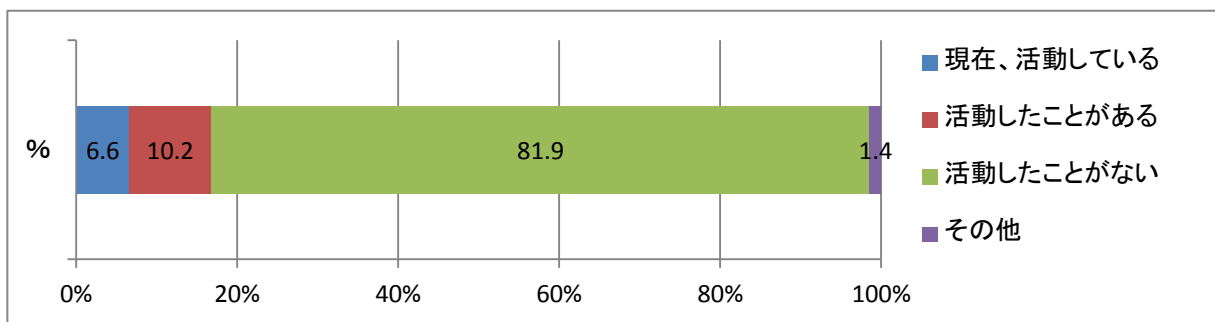
【問2】「協働」という言葉を知っていますか？

内訳	人数	%
内容もよく知っている	47	10.7
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	165	37.4
知らない	229	51.9
合計	441	100.0



【問3】「市民公益活動」を行った経験はありますか？

内訳	人数	%
現在、活動している	29	6.6
活動したことがある	45	10.2
活動したことがない	361	81.9
その他	6	1.4
合計	441	100.1

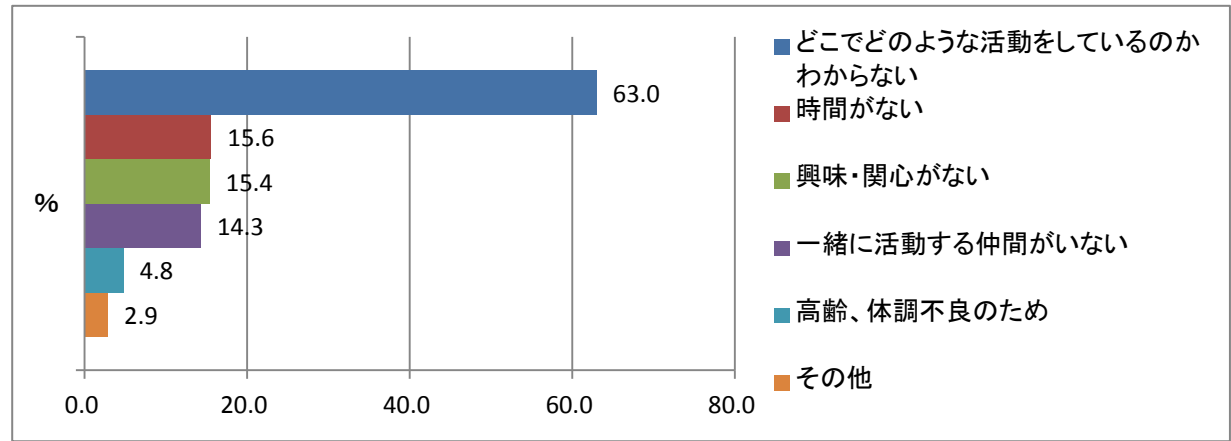


【問3-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

和歌山市青少年発明クラブサポートをしています。
 「市民公益活動」という言葉を「知らない」と回答しているので、問3には返答不能です。
 今行っているのが共同に入るかどうか分からない。
 公益活動の内容が分からない。
 和歌山県食生活改善推進協議会に所属しています。市民公益活動と言えるかどうか分かりませんので、その他にしました。
 知らないから。

【問3-2】問3で「活動したことがない」と回答された方にお聞きます。活動されない理由は何ですか？該当者361名

内訳	人数	%
どこでどのような活動をしているのかわからない	278	63.0
時間がない	69	15.6
興味・関心がない	68	15.4
一緒に活動する仲間がいない	63	14.3
高齢、体調不良のため	21	4.8
その他	13	2.9

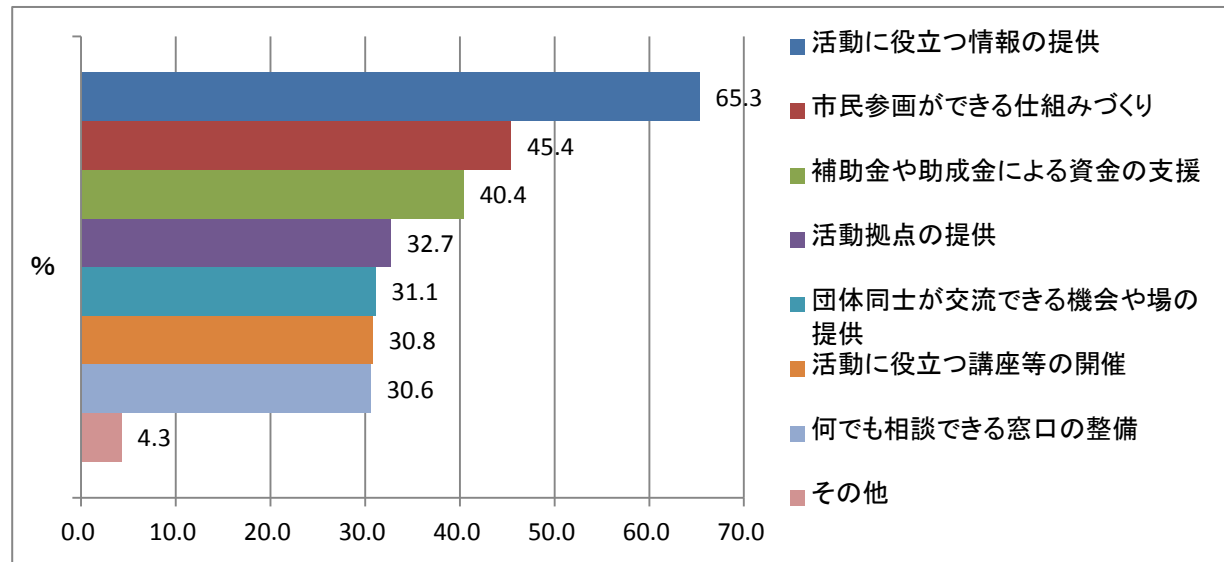


【問3-3】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

子供が小さいから。
 自分の身の回りのことで精一杯で他のことに目を向けてる余裕がないので。
 時は金なり。利益が出ないのに、奉仕するほど暮らしに余裕がない。
 自分は後期高齢者ですが、今のところ健康で活動したいと思っていますが、活動の方法がわからない。
 声高に綺麗事叫んでこういう活動してる人間に胡散臭いのが多いから。
 詳しく知らない為
 知らなかった(初めて聞いた)。
 活動自体知らない。
 知らなかった。
 知らないから活動したこともない。
 その活動自体知らないから。
 存在を知らないから。
 そもそも知らない。

【問4】「協働のまちづくり」を進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、ふさわしいと思うものは何ですか？

内訳	人数	%
活動に役立つ情報の提供	288	65.3
市民参画ができる仕組みづくり	200	45.4
補助金や助成金による資金の支援	178	40.4
活動拠点の提供	144	32.7
団体同士が交流できる機会や場の提供	137	31.1
活動に役立つ講座等の開催	136	30.8
何でも相談できる窓口の整備	135	30.6
その他	19	4.3

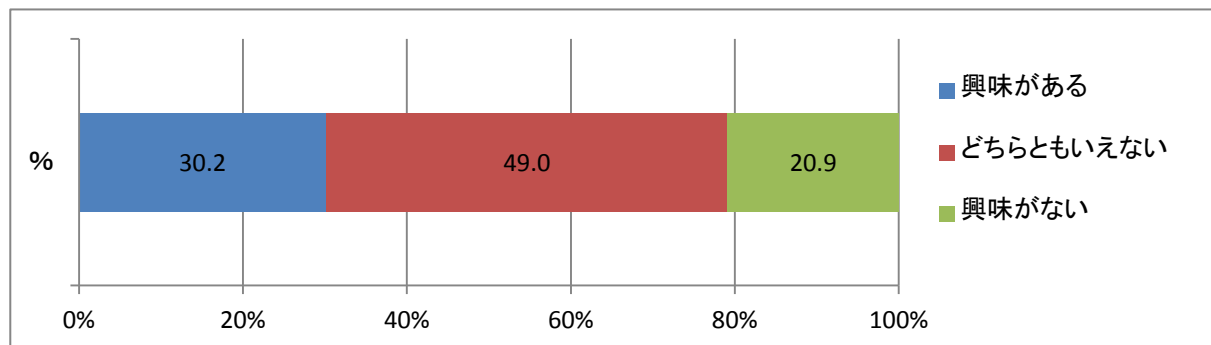


【問4-1】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

行政とは別に活動してもらうほうが良いと思います。
 行政の否本来的な業務を積極的に市民公益活動団体に委託する。
 市長がNPO支援をするぞという強い姿勢を示すこと
 多くのNPO団体が情報発信に多大な時間とコストを裂いているので、市民への情報発信
 信頼できる和歌山市になり財政あるいは法制上限界が見えてきたときには協力を厭わない。
 必要性を感じない。
 活動内容がわからないので答えようがない。
 人口対策、高齢化対策、空き家対策
 市民公益活動の情報を集めたポータルサイトの運営
 どこでどのような活動をしているのかわからない。
 そもそもよくわかっていない。
 協働は、おおまかに分かっていますが、市当局はいろいろな機会を利用して積極的に広報してほしい。
 行政が良かれと思ってすることは大概の場合、邪魔をしているだけの自己満足となるので、極力何もしないことが最良の施策。こういうアンケートで何かの参考にしようとしていることが行政の限界である。
 前提、団体は不正をしないか。

【問5】「市民公益活動」に興味がありますか。

内訳	人数	%
興味がある	133	30.2
どちらともいえない	216	49.0
興味がない	92	20.9
合計	441	100.1



【問6】市民公益活動についてご意見等ございましたらご記入下さい。

友人の活動に賛同してNPO化しようと試みた経験があります。NPO化するにあたりビッグ愛の中のNPOセンターを訪れ質問しましたが、職員は不親切で主婦の暇つぶしでしょ的な反応、取り合ってもらえずがっかりしました。窓口自体がそんな対応では、市民公益活動など広まるには途方もなく時間がかかると思います。

ボランティア活動のようにどうしても誰かがやればよい、やれる人がやればよいと思っている人が多いと思います。実際に何をすればどうなるのかも全くわからないので現時点で行動には移しにくいです。

スキルを持った退職者の活用。やりがい有れば頑張りますし、皆元気です。情報整備が必要と思います。

ホームページを見ましたが、非常にわかりづらいです。そもそもページに行きつけない。あまり知らせたくないのかとすら感じてしまう。内容的にも、単独のよさこいのチームがなぜ公益活動になるのか疑問です。

参加しやすいしくみを！

「市民公益活動」や「協働」の定義を、知っているとの前提での設問設定がなされている。今回のアンケートは、全く一方的な設問設定です。

もっと内容を知って実際に活動されている所を見ていきます。

一部のNPO団体への不信感がある。そういうのを払拭できればと思う。

初めて聞いたので、知識がありません。調べたいと思っています。

これを機会に市民公益活動を調べてみようと思いました！

和歌山市語り部クラブ等のボランティア活動に参加していきまして、行政側のアシストに感謝しています。

活動をしている人に偏りが見える。同じ人がいくつもの団体をおこしたり、所属したりしているような感じを受ける。もっと幅広い人が活動できるような下地づくりが必要なのでは。

市民が活動しやすいように市がバックアップして下さい！

フォルテワジマ6FNPOサロンは時々使わせてもらっています。

ただ単に「市民公益活動を推進しよう」ではなく、「こういう和歌山市を作っていきたいから、こういう市民公益活動を積極的に支援していきます！」という、「和歌山市としての意思」を固めてもらえたら、もっと積極的に参加する市民が増えると思います。どの団体がどれくらい人の役に立っているか、とか、どの団体の活動に参加するのが和歌山市のためになるのか、など分からないと参加を検討することもできません。

市民公益活動を行う事で、自分の居住している地域に関心を持ち、地域に貢献する事で、所属意識や役割意識が出ると思います。そうすることで、地域に目を向け、人にも関心を持ち市民自ら街づくりを考えていけるようになるのではないのでしょうか。このような活動は、だれもが簡単に活動できるものでなくてはならないと思います。その仕組み作りを行政がつくっていく必要があるでしょう。一度やってみる！そのきっかけをどうしかけるか？が重要だと思います。運営を続けていけるように、人材を育てることも必要だと思います。大学との提携や企業の社会事業とのコラボなど、仕掛けていけるのではと思います。

市民公益活動という言葉は初めて聞きました。漢字の意味から推定するに、市民がボランティアなどの活動のある程度の組織単位で行う事なのかな？と思いますが。子供や夫の面倒を見ないで済む時間帯の活動であれば、社会の役に立つなら参加したいと思います。

ボランティアとは違うのかな。そのような活動はやった事はないが興味はある。色々な方とも触れ合ったりする機会が少なくなったのであれば参加してみたい。

10年後を見つめた行政の積極的な支援が必要か。

主人が頑張っていて活動しています。ただ、先輩たちが高齢化でやめていきます。人不足で困っています。私は介護で手いっぱいです。関心の有る人もいるはずですが。広報で参加呼び掛けてはいかがでしょう。

小中学校でなにか問題が起きたときに、教師でもない保護者でもない、第三者が学校にはいることで風通しがよくなるのではないかと思う経験がある。それが市民公益活動にそぐわっているかどうかはわからないが、市民のために、という意味では活動の範囲をどんどん広げ、活動できる人もどんどん増えるといいなあと思う。

老後の生き方の1つになれば良いと思います。

活動を長くやり遂げる事の難しさを、実感した。

助成金等は各省庁から出てるのかな？市からの資金支援は他に使ってほしいですね。非営利でも何の為に設立したかわからないNPOもありますから。

市のTOPの姿勢が特に重要である。生かすも殺すもTOPの姿勢次第である。

機会があれば参加したい。

補助金や助成金を目当てにした活動団体のせいで、NPO活動自体の信頼が低下しているように感じる。市民の底力事業など一度見直しをすべきではないでしょうか。

災害地支援をサポートしてほしい。

活動をしてみたいとは思いますが、市民への周知がなく、きっかけがない。まず広報活動が必要だと思います。

地域の自治会活動や、自主防災活動、消防団との重複をしないような交通整理が必要だと思います。

ボランティアやNPOという言葉を使ったほうが内容がイメージしやすいのに、なぜあえてなじみのない市民公益活動という言葉を使うのか。

大変いいことです。

公益活動団体に参画してみたい、しなければならぬとの気持ちはあるのだが、いざとなると本格的に参画するまでの気持ちがわいてこない。団体に入るというよりも、その団体が行う活動メニュー(例えば公園の清掃等)に参加したいと思っている。

市政月報やニュース和歌山に、案内や活動状況をもっと記載すべきでは。

市民公益活動については良く知らないのですが、ニュース和歌山やその他新聞の和歌山版、メールなどで活動内容や報告等定期的に知らせて欲しい。

昔は地域、ご近所が互いに協力、助けあいが当たり前でした。現在は(無償のボランティア)で営利目的でなければ協力出来ない世の中になっている様に思います。

PR不足ですね。魅力ある活動にして盛り上げてください。

新しいことを考えるのはいいのですが、こんな難しい言葉を使わなくても、昔から地域のために毎朝、市の道を掃除してくれている人や、地域の高齢者や子供を見守ってくれている人がいます。長年、黙って地域のために奉仕してくれる方々に、もっと主導権を握らせてあげてほしいです。実際に地域のために身を削って何もやっていない学者、若者、権力者に振り回されるのは、もうゴメンです。

気軽に参加できるようにしていただければいいと思います。

ひとつひとつの活動内容が伝わっていないので、賛同されにくいと思う。

首長、市議員、職員が全力で職務を全うしそれでも補う必要のある活動対象課題、例えば災害・教育・観光等があれば活動する主体(NPO、自治会、企業etc)が既得権や利益、権威が発生しない形で活動するなら理解できる。

役所の方が非協力的です。

認知度が低いと思います。もっと市民に分かりやすく伝え、具体的に活動への参加を募集すれば、どんどん広がってくると思います。

自分はあまり好意的な考えを持っていない。安上がり・使い捨てのスタッフとして行政に期待されるのは不快だし、やりたがる人間の、政治的志向が鼻につくこともある。

私は一昨年に定年退職し、長年お世話になった和歌山市のためにできることをやりたいと思い、ボランティア活動にはできるだけ参加するようにしています。今後とも市民公益活動には参加し市のために役に立ちたいと思っています。

あまり知らずに申し訳ありません。大変有意義な活動のように思うのでどんどん推進して広めていってほしいと思っています。

公益活動の具体的な内容説明をPRしてほしいな！

興味があるかないかをこのアンケートで問うなら、今現在和歌山でどのような活動を行なっているのか例が欲しかった。あと補助金を出してくれるのはありがたいが最近補助金が欲しいための活動団体があるので、補助金ありきではなく、補助金を受けるための厳格化をして欲しいと考えます。公務員だけでなく、補助金も税金なので補助金を受ける団体も自分達だけが良いのではなく、和歌山市を盛り上げるという気力がある団体や個人でないと税金の無駄遣いになります。公務員だけでなく、私達市民も税金の無駄遣いをしているのだという自覚をするような風潮になればいいのですが、もちろん真面目に取り組んでいる団体も個人もいるので全部が全部とはいませんが、市民も自覚することが大事と考えます。

PR不足

ライフスタイルの多様化で自分自身の生きがい作り、自己実現の手段としてボランティアに参加する。活動内容等の情報の公開が必要(いつ、どこで、どのような、)ボランティアを募集

和歌山市ではありませんが、関わったことがあります。市民と行政の町づくり、町おこしは最近よく聞かれますが、なんでも補助金づけというやり方には共感できません。また、現実問題として市民がボランティア精神で動いているに関わらず決定権が行政で市民の声が届かないこともあります。そうすると、結局行政に対しての期待感、信頼感がなくなります。そして離れるということも。和歌山市でも活動されていた知人がいましたが、その声を聞くと行政に対する不満もありました。本当に市民の声が届くのか、その点も含めて見える化して欲しいと思います。

和歌山市内で活動しているNPOを知ってもらう活動をしてはどうか。市報に取り上げるとか、議会だよりのようなNPO通信のようなものとか。

体力作り、健康管理教室を兼ねた公益活動(ハイキングコース)の清掃、整備等をPRし参加者に活動達成感を持ってもらい継続して行ける活動に(時々弁当を付ける等して)

どんな活動をしているのかよくわからない。

行政がカバーできない部分をNPOやボランティア団体が補うことができると思うので、積極的に支援してほしい。

今年94歳になる少し老人性の認知症の母がいます。看護婦の免許、お花の師匠の免許等を持っており、何か市民公益活動に参加できたら、物忘れも少し良くなるのでは？今は自宅でお留守番、足腰も弱っているが、高齢者パワーを発揮できる場を作って欲しい。

既存の活動団体や、加わりたい活動、解決したい課題などを出し合いマッチングするような拠点となる施設が和歌山市にはあるのでしょうか。例えば札幌には「エルプラザ」という施設があります。拠点となる施設が実はちゃんと存在するが、市民には認知されていないのでしょうか。拠点がなければ新たに作るようなことはしなくてよいので、既存施設のリノベーション等で設けてほしいと思います。

今は仕事で疲れているので退職したら考えたい。

もっと広く浸透する必要があると思う。

このような活動は、これからの時代にあつたいい活動だと思います。高齢者社会に合わせて、高齢者の方も参加できるような作業もあるといいと思います。和歌山の場合、定年退職された方の力をおおいに活用するべきだと思います。

現在の調子が悪く、自分自身が元気に過ごすのが第一なので、興味がない。

実際にどのようなことが行われているのか興味があります。

今のところ興味はないので思いつかない。

和歌山市がどのような計画で市民公益活動を支援しているのかを知りたい。

40数年間つつがなく過ごしたい行政マンと、短期間で一定の成果を出したいNPOが本当に理解し合えるのだろうか。

公報が少なく、市民に周知できていないと思う。

活動に関する情報の提供があれば、参加してみたいと思います。

フォルテワジマの6階を利用させてもらっている程度

現在、介護で時間も心も余裕が無い。

広く広報すべきであると思います。

どの範囲を公益活動と括っているのかが定かでないで、この辺りを含め広く市報などを通じ1. 活動内容、2. 日程・概要、3. 対象等の詳細をアナウンスをして欲しいと思う。ボランティア活動は嫌いではなく、個人で取り組んでいるので機会があればお役にたちたいと思う。

そういうものは個人ではなく、公的機関がするものだと思うから。個人で協力したい人は、寄付でよいと思う。思いが強いだけで何もできない人は、かえって迷惑
「市民公益活動」とか「協働」とか、もっと現代風の言葉ないのかな。

将来的に活動が出来ればと考えている。

聞いたことはあるけど、どこでその情報を聞けるのかもわからないので、興味がないというよりきっかけもない感じです。

必要な情報が無い。

どのような団体が、どのような活動をしているのか知りたいです。

ボランティアと市民公益活動と町内会活動(一斉清掃)とかの違いがよくわからない。

よく解りません。

よく分かりません。

具体的なものが分からない。

全くの初耳、概要を知りたい。

どういう活動か知らない。

具体的に活動を教えてほしい。

市民公益活動を知りませんでした。

よくわからないので、答えられない。

良く分からなかったです。

この言葉事態初めて聞き、あまり意味もわからず現時点では興味もわきません。まずは市民公益活動の具合的なお話や例、または何に役立つのかなど知れる場所、機会があれば
と思いました。

知らない言葉でした。後程調べてみます。市の費用を多く使おうとする活動なら困ります。子供の将来にマイナスのものはいらないから。

まだよくわからない活動

お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

「市民公益活動」「協働」共に言葉の認知度について、約2分の1以上の方が「知らない」と回答されており、アピール不足、広く浸透するように情報発信を、との多数のご意見をいただきました。

市報わかやま、ホームページ、ラジオ広報、メールマガジン等による広報をより強化するよう検討してまいりたいと思います。

今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。